
オカルトネット～コックリさん編～

岩長心矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オカルトネット〜コックリさん編〜

【Nコード】

N9114A

【作者名】

岩長心矢

【あらすじ】

オカルトネットというサイトで神話や童話などを紹介している物語

(前書き)

この物語はいろいろな神話や童話を少し作り変えて書いています
だから本当には起きません絶対

林山有紀・23歳・独身・性別・女・OL

最近近ネットにはまった私はいろんなサイトを見てきている。

「さうて、今日もネットやりますか！」

ネットが生きがいの私は仕事でもネットのことばかり、帰ると向かうはパソコン机。

「なにか、面白そうなサイトないかな？」

「あ！そういえば会社で優奈が面白いサイトがあるって言ってたっけ！」

優奈は私の小学校からの親友でずっと一緒だった。

「よし！早速行ってみつか！えーつと？オ・カ・ル・ト・ネ・ット…つと！」

オカルトネットとはこの世にある神話や童話、不思議体験のことが書かれているという。

「うーん、私って読むのあんまり好きじゃないのよね…」

「でも、優奈がせっかく教えてくれたんだもん！それに、オカルトにはちよつと興味あるしね…」

そのサイトを開いた時：

「有紀ー！！」

母さんが怒りながら階段を怪獣のように上がってきた。

「あんた、またインターネットやってんの？少しは家の手伝いしなさい！！まずは夕飯作り、その後、皿洗いに風呂掃除、あっ！あと…」

「ちよつ…母さん…多すぎよー！私、料理できないんだから母さんやってよ！」

「なに言ってるんだい！家事ができなきゃ嫁入りできないよ！」

その後、母さんは家のことを全部私にやらせた。

部屋に向かったのは、もう夜12時をまわっていた。

「あれ〜？」

私が部屋に入ると机のパソコンがついていた。

「なんで？ちゃんと消したのにな〜？消し忘れかな〜？まあいいや！さてさて、オカルトネットいきますか」

オカルトネットのページを開き、最初に目がいったのは、一人のコックリさんという言葉だった。

「一人のコックリさん？」

コックリさんは紙に文字やらを書いた上に10円を置いてその上に数人の人差し指を乗せてコックリさんに10円を動かしてもらって占うもの。

「興味津々〜！早速読もう！」

「一人のコックリさん」

あなたはコックリさんの秘密を知ってますか？

いきなり流行りだした占い法。

コックリさんというのは、紙に文字などをかきその上に10円玉を用意し、10円玉に指を乗せ、目を閉じて、コックリさん呼び出し、コックリさんに質問して答えてもらう。しかし、その裏には恐ろしい事があります。

ある小学校生徒が5人、流行りだしたコックリさんをやっていました。

みんな仲良く指を乗せ、恋愛や運勢を占っていました。

ところが、ある日、隣町の小学校生徒が交通事故で死んでしまいました。

事故現場にいたその子の友達がわめくように

「コックリさん…コックリさんに命を持っていかれたー！」

といったのがニュースになりました。

コックリさんをするにあたって、3つの決まり事があります。

一つ目は、コックリさんが答えを出している時に絶対、指を放さないこと。

二つ目は、占い終わったら、必ずコックリさんにお礼を言うこと。そして、最後の三つ目は、絶対一人ではないこと。

この三つが守れなかったものは、コックリさんに命を持っていかれる。

死んだ生徒はコックリさんの答え中に用たしの際、指を離してしまっただけ。それを聞いた小学校生徒達みんなは自分もやってしまいかもしれないと、コックリさんを止めることにしました。

しかし一人だけまだ続けたいという者がいた。

最初に話した5人の中の1人です。

あとの4人は怖がりやることを嫌がってその子から離れていき、一人ですることになりました。

三つ目の掟を知らないその子は、とうとう一人でやりました。文字を書いた紙を用意し、10円玉に指を乗せ、目をつむって言いました。

「コックリさん、コックリさん降りてきて、質問に答えて下さい。」ところが30秒たっても、コックリさんが現れる気配がありません。

おかしいと思ったその子は、目をゆっくりあけました。

そこは、さっきまで自分がいた場所ではなく、暗闇に包まれた空間だった。

コックリさんの掟はそれぞれ破ると、違いがあります。

一つ目を破ると、魂を持っていかれて、二つ目を破ると、体を持つていかれ、魂はこの世をさまよう、そして三つ目を破ると、それまでの自分の存在、つまりは全ての記憶を持っていかれてしまう。遊びなどにも掟は存在し、それを破ってしまうと……。

そこは、さっきまで自分がいた場所ではなく、暗闇に包まれた空間だった。

コックリさんの掟はそれぞれ破ると、違いがあります。

一つ目を破ると、魂を持っていかれて、二つ目を破ると、体を持っていかれ、魂はこの世をさまよう、そして三つ目を破ると、それまでの自分の存在、つまりは全ての記憶を持っていかれてしまう。遊びなどにも掟は存在し、それを破ってしまうと……。

そこは、さっきまで自分がいた場所ではなく、暗闇に包まれた空間だった。

コックリさんの掟はそれぞれ破ると、違いがあります。

一つ目を破ると、魂を持っていかれて、二つ目を破ると、体を持っていかれ、魂はこの世をさまよう、そして三つ目を破ると、それまでの自分の存在、つまりは全ての記憶を持っていかれてしまう。遊びなどにも掟は存在し、それを破ってしまうと……。

「……」

私は、言葉を失っていました。

「な……なにこれ……まるで実話のように書かれているじゃない……」

私が読み終わった時には夜中の2時になりかけていた。

「しまったー！！明日も早いのにー！！早く寝なきゃ」

私は、パソコンの電源を切り、明かりを消して寝ました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9114a/>

オカルトネット～コックリさん編～

2010年10月10日06時49分発行